

これまでのヒアリングの主な内容＜三大都市圏等関連＞

	八王子市
1 人口減少の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八王子市は人口が58万。面積は186平方キロであり都内最大の市。平成27年4月には中核市へ移行する。 ○ 高尾山をはじめ豊かな自然に恵まれ、市内には21大学、約11万人の学生が学ぶ学園都市でもある。古くは織物のまちとして栄え、市内にはものづくり産業2,000社が立地しておる。最近では、圏央道の整備効果もあり、物流企業を中心に企業立地が進んでいる状況。 ○ 八王子市の人口動態は、平成22年度までは増加していたが、平成23年度以降は横ばいとなっている。平成22年度から死亡者数が出生者数を上回る自然減となっており、社会動態は転入者数が転出者数を上回っているものの、その差は年々なくなってきた。社会動態による人口増が自然動態による人口減をカバーし、横ばい状態を維持している。 ○ 八王子市の年齢構成は都内全体の年齢構成と比較すると20歳から24歳までの人口割合が高くなっている。これは大学が多く入学時に転入してくる学生が多いことが理由。この学生をそのまま居住させるために、今、市内企業との就職マッチングなど、さまざまな施策展開を行っている。 ○ 昨年策定した八王子の基本構想・基本計画では、平成32年に人口のピークを迎え、それ以降は減少すると推計している。現在の八王子市の高齢化率は23.54%である、平成42年には28.3%になると推計している。ただ、実際の実態は、横ばい状況。 ○ 八王子市では、地域を6地域に区分しているが、広大な市域のため、多様な地域特性がある。中央部分のJR八王子駅周辺が中心市街地になるが、西部地域は豊かな緑が、東南部、東部地域にニュータウンがある。それぞれ人口構造や将来人口推計も異なる、人口の動向は、中心市街地の中央地区、八王子インターチェンジのある北部地域は横ばい、緑豊かな西南部地域、西部地域は減少傾向にある。八王子ニュータウンによって開発が進んだ東南部地域は増加傾向にあり、多摩ニュータウンのある東部地域は22年度まで増加し、その後は横ばいとなっている。
2 人口減少対策	<p>(コミュニティの活性化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 八王子の特徴の1つとして、町会・自治会の数が多いことがあるが、加入率が年々低下しているという課題を抱えている。地域のつながりを深めることが定住意向の高まりに結びつくと考えており、町会・自治会へのさまざまな支援を実施している。八王子市内のNPO法人数も274法人と非常に多く存在しており、町会・自治会と連携することで、さらに地域住民のつながりも深まるものと考えている。 <p>(卒業生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 他市からの転入者増を図ることも必要。人口減少への対応策の1つとして、大学入学時に本市に転入した大学生に卒業後も、八王子に住み続けてもらうための取り組みが必要だと考えている。 <p>(子育て対策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ また、未就学の乳幼児を持つ子育て層や、若い勤労者世代が長く居住する住居の決定時に、八王子市を選んでもらうようなまちづくりが重要とも考えている。そして、終の棲家として、いつまでも住みたいと思っただけのような「選ばれ続ける都市」を目指してさまざまな政策実現に取り組んでいきたい。 <p>(企業誘致)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 八王子では多摩ニュータウンはある程度年数がたってきていて、地域によっては高齢化といったのは非常に大きな問題になっているが、八王子ニュータウンが開発を進めており、そちらでは人口が増えている。東側、東京寄りのほうは、公共交通が発達している関係で、西側からだんだん東側に移っているという印象。東側はかなりマンションや戸建住宅がどんどん建っている。市外からの転入ではなく、市の西側から東側への移住が多いという状況。今後は少しずつ減少していくだろうという予測をしている。ただ、圏央道等が完成をし、今、八王子ではまだ土地利用が図られていない部分がある。そこは積極的に企業誘致を図っている。徐々に計画が進んでおり、企業誘致が進めば雇用が発生する。住居を構える。そのようなことを通じながら、何とか人口を維持したい。
3 広域連携	<p>(広域連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広域連携については、正直なところ、自治体同士で今のところ三多摩地域は競争しているという面があり、市長会の中ではある程度、広域連携について、例えば施設などでも共有したものをつくっていかうと議題にはなるが、なかなか現状は先に進んでいない実態がある。例えば東京都で、ある程度中心的な役割を担っているいろいろな施設を、重複している施設は結構あり、その辺を誘導していくというようなやり方をしていくと我々は動きやすいと思っている。